

2017年9月4日 日本公認会計士協会主催 キャリアセミナー

## 『IASB関係者に訊く！グローバルに活躍する会計プロフェッション』

世界130か国以上で適用されているIFRS基準は、基準設定主体である国際会計基準審議会（IASB）を中心に、多様な地域的・職業的バックグラウンドを有する関係者の関与に基づき策定されています。

我が国においては、会計監査、経理・財務、経営や投資などのさまざまな分野で活躍する会計プロフェッション（職業会計人）が、テクニカルな知識の修得だけでなく、国際的な経験を積み、IFRS基準などに関連する会計基準のグローバル化に積極的に関わっていくことが期待されています。

本セミナーでは、多彩なキャリアをお持ちのIASB関係者を迎え、経歴の紹介などを交えながら、これまでの経験から得た教訓、さらにグローバルに活躍する会計プロフェッションを取り巻く状況や求められる資質などについてご講演いただきます。

本セミナーの参加を希望される方は、以下の【ご案内】にあるリンク先から申込みをお願いいたします。

【ご案内】日本公認会計士協会ウェブサイト

( <http://www.hp.jicpa.or.jp/ippan/about/news/20170705aad.html> )

【開催日時】2017年9月4日(月) 10時00分～12時10分（開場 9時30分）

【会場】日経ホール(日経ビル3階 <http://www.nikkei-hall.com/access/index.html>)

【プログラム】(同時通訳あり)

### **Session 1 講演**

講師：Mary Tokar IASB ボードメンバー

### **Session 2 パネル・ディスカッション**

モデレーター：

・竹村 光広 IFRS 財団アジア・オセアニアオフィス ディレクター

パネリスト：

・Mary Tokar IASB ボードメンバー

・鷺地 隆継 IASB ボードメンバー

・Kathryn Donkersley IASB シニアテクニカルマネジャー

【対象】日本公認会計士協会会員・準会員等、及びその他財務報告に係わる関係者(学生を含む。)

【定員】500名(申込数が定員に達し次第、締切りとさせていただきます。)

【参加料】無料

【C P E】2単位、コード1001(職業倫理)

【問合せ先】日本公認会計士協会 IFRS セミナー担当事務局

E-mail: [ifrs-seminar@sec.jicpa.or.jp](mailto:ifrs-seminar@sec.jicpa.or.jp)

## 【講演者紹介】

- Mary Tokar (IASB ボードメンバー)



2013年1月よりIASBのメンバー。IASBメンバーに就任する前は、KPMGの国際財務報告グループのグローバル・リーダーとして、世界中の規制当局や基準設定主体との対話をリードした。先進国経済と新興国経済の両方におけるIFRS適用の豊富な経験を有する。2001年から2007年までIFRS解釈指針委員会(IFRIC)のメンバーであった。それ以前は、米国の証券取引委員会(SEC)でシニアアソシエイトチーフアカウンタントとして国際会計の問題を主導し、証券監督者国際機構(IOSCO)で開示及び会計の問題を検討する証券監督者の国際委員会の議長を務めた。

- 鷺地 隆継 (IASB ボードメンバー)



2011年7月よりIASBのメンバー。IASBメンバーに就任する前に、住友商事フィナンシャル・リソースズグループ長補佐を務めており、IFRS解釈指針委員会(IFRIC)のメンバーでもあった。また、日本経団連が主催するIFRS導入準備タスクフォースの事務局長やASBJ(企業会計基準委員会)のアドバイザーも務めていた。

- 竹村 光広 (IFRS 財団アジア・オセアニアオフィス ディレクター)



東京にあるIFRS財団サテライトオフィスの運営責任者であり、また、アジア・オセアニア地域におけるIFRS財団の中心的な連絡先としての役割を果たしている。IFRS財団のディレクターに就任する前は、大手会計事務所のパートナーとして、多国籍企業に対する監査及び税務サービスに従事していた。2008年から、日本のASBJの専門研究員として、会計基準の作成に携わり、2009年から2011年まで、IASBに客員研究員として派遣。日本の公認会計士。

- Kathryn Donkersley (IASB シニアテクニカルマネジャー)



IFRS第16号「リース」の基準設定プロジェクトに2年間従事し、現在、リース基準に関するIASBの適用サポートの活動をリードしている。ロンドンのErnst & Youngで小売業及びテクノロジー業の監査を担当。その後、テスコでグループ内及び社内チームへのIFRSサポートやトレーニングに従事した。